

会 議 録

会 議 名	令和8年度 第1回東松山市立中学校部活動地域移行検討協議会					
開 催 日 時	令和8年7月30日（木）			開 会	14時00分	
				閉 会	15時30分	
開 催 場 所	東松山市総合会館3階 302会議室					
会 議 次 第	1 開会 2 任命書交付 3 座長選出 4 挨拶 5 協議 （1）東松山市部活動の現状と本年度までの取組について （2）東松山市の部活動の方向性・取組状況・実証事業について 6 その他 7 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数		3名	
非公開の理由 （非公開の場合）						
委員出欠状況	座 長	森 浩寿	出席	委 員	久保田 慶一	出席
	委 員	寺田 浩之	出席	委 員	西川 光治	出席
	委 員	大塚 実	出席	委 員	松崎 努	出席
	委 員	岡部 健	欠席	委 員	遠藤 和宏	出席
	委 員	太田 あや子	欠席			
事 務 局	教育長 吉澤 勲			学校教育部長 高荷 和良		
	学校教育部次長 澤田 一彦			スポーツ課長 大木 克彦		
	学校教育課長 内田 恵子			文化芸術推進室長 熊澤 篤司		
	指導主事 柳 恒平			指導主事 岩岡 翼		
	スポーツ課主査 野中 勇太					

次 第	顛 末
1 開 会	事務局 開会宣言
2 任命書の 交付	教育長 任期満了に伴う、再任・新規任命者への委嘱状及び任命書交付 (交付者：吉澤教育長)
3 座長選出	森座長（大東文化大学）が継続して就任
4 挨拶	森座長（大東文化大学） 吉澤勲 教育長（東松山市教育委員会）
5 協 議 事務局	（１）東松山市部活動の現状と本年度までの取組について ・令和８年度部活動顧問部活動指導員外部指導者の配置図について 南中学校のソフトテニス部の外部指導者に１と入っているが、こちらを消して南中学校のバスケットボール部に１を追加 ・今年度までの状況について 昨年度から、部活動指導員活用事業補助金を活用 合計１２名の部活動指導員を市内に配置した。 令和７年度は、８名 令和８年度は１２名に人数を増員させた。今年度から、部活動指導員を全校に配置することができた。 部活動指導員は配置の関係上、会計年度職員となるので、任用までハードルが高くなっている。 現状、配置できていない部活動も多くあり、次年度に向けて、部活動指導員の拡充に努めていく。
西川委員	国では、部活動の改革実行期の前期である。土日を中学校の部活動から地域の方に切り離していこうという実行期。本市では部活動指導員を充実させていき、現状ある部活動を充実させていくために、部活動指導員の配置を多くしていくという考えというように記憶している。本年度１２名の指導員ということで、外部指導者の人数を数えてみると、全校で今２８名。この２８名が部活動指導員に切り替わり、部活動指導員の数が増えるのかどうかを伺いたい。
事務局	部活動指導員を拡充していくことをメインで考えていく。外部指導者については、現状増やしていくという考えはないが、先ほどの説明の中に、兼業が

	できず任用ができないケースが発生した。今回、その方は外部指導者で任用させていただいた。外部指導者が、部活動指導員に移行していく可能性も十分ある。
寺田委員	外部指導者の方から部活動指導員という話があったが、顧問の先生から部活動指導員の意向がある兼職・兼業というのはこの中に入っているのか。
事務局	現状、部活動指導員の確保ということも難しくなっている状況もあり、検討していく必要がある。校長先生方もいらっしゃっておりますので、学校の先生方が兼職・兼業をして部活動指導員をやるということについてのご意見等も伺えればと思う。
松崎委員	埼玉県ではポスター等でも知らされている通り、兼業のことについて PR が盛んであり、市町村によってその取り扱いに違いがある。先生方は、練習試合や大会等で他市との交流がある中で、東松山市の状況を聞かれることが多い。実際に同じ顧問でも、兼職・兼業をしている方もいると聞いている。希望を取り、東松山もそれが可能という方向で進むのかどうか私も聞きたい。また、部活動指導員も拡充していくという話だが、大体どのぐらいの人数を見込んでいるのかということも触れていただきたい。
事務局	まず部活動指導員は、この後の人数については増減する可能性もあるが、現状、令和 10 年度までに 25 名に増員をしていきたいと考えている。 現在、13 名の予算があり、現状 12 名配置をしている。令和 10 年度までに 25 名の指導者の確保については難しい面もあるため、兼職・兼業も考えていく必要があると感じている。
森座長	25 名の根拠はあるか。
事務局	25 名が現実的に配置可能かと考えている。
森座長	顧問の部活動指導員の活用も今後はあり、元々兼職・兼業は禁止とはしていないという方針ではあるが、現実問題勤務時間の縛りがあるため、簡単にはいかないと伺っている。兼職・兼業も労働時間に入るなので、許可をしても、その縛りがあるから難しいということは、去年か一昨年聞いた覚えがある。

	今後どう調整をしていくかが課題だが、基本的には希望される先生方の意欲を尊重するという方針だと思っている。
久保田委員	部活動指導員の活用状況について教えていただけるとありがたい。今年度から配置された方々がどのような形で今、各校で活用されているかという点について把握されていることがあれば教えていただきたい。
事務局	活用状況としては、原則週に一度各校に行き、部活動を単独で見ている。
森座長	週末も土日という理解でよろしいか。
事務局	はい。原則週土日のどちらか1日となっている。中学校では、定期テスト期間があり、活動できない週や大会の直前等に関しては、平日に割り振りをしていくという場合もある。原則年間51回を基準としている。
教育長	部活動指導員の25名について、例えば剣道なら1ヶ所で1人、土日等については陸上も1ヶ所で1人ということなので、一括しての実施であれば、競技の数だけあれば人数は足りると考えられる。ただ、全部1ヶ所に集めることができない種目もある。実際、学校の先生方に兼職・兼業をお願いした場合は、現場の感覚としては兼職・兼業を希望する先生はいるかお聞きしたい。
西川委員	県費教職員は30人ほどいるが、希望者は3分の1程度だと考える。
松崎委員	規模や教員の考え方にもよるので、場合によってはアンケートをとった方がよいと思う。アンケートによって兼職・兼業の人数も見えてくると感じている。
森座長	この数年間で先生方の温度感がすごい勢いで変わってきているという気はする。
寺田委員	西川委員にお聞きしたい。 先ほどの話で、兼業をして部活動をみたいという教員が3分の1ぐらいはい

	るということでしょうか。
西川委員	アンケートを取って見ないとわからないが、肌感覚ではそのように感じている。
森座長	前回、文化系のクラブである吹奏楽等が話題になったが、部活動指導員も1名2名入っているのか。外部指導員が4名入っている。 前回、協力体制についてご提案があったかと思うが。
大塚委員	事務局と話をしたが、我々は合奏ではなく、各パートごとのスキルを上げていけたらと考えている。東松山市アンサンブルのメンバーからも、そういった形でなら進められると考えており、事務局と少しずつ進めている。部活動指導員となると、仕事をしているメンバーも多く難しい。何か付随してご協力できればと考えている。
森座長	では、現状と本年度の取り組みについてはここまでとする。続いて、今後の東松山市の部活動の方向性取り組み状況、実証事業について説明をお願いする。
事務局	(2) 東松山市の部活動の方向性・取組状況・実証事業について
森座長	ただいまの説明に対してご質問等はあるか。
寺田委員	いくつか質問をする。 まず、2番の実証概要のところ、剣道と陸上のみということだが、ソフトボールは以前あったが、なくなった理由としては部活動指導員がいないからということでしょうか。個人競技と団体競技両方あるとさらにいい実証事業になったのではと感じた。 二つ目は、募集についての定員だが、無制限とあるが、何名くらいの指導者を予定しているのかでかなり指導内容が変わってくると思う。例えば1人しかいないのに100人を教えるのは絶対に不可能。その辺のバランスはどう考えるのか。それを踏まえ、活動場所について、市民体育館と陸上競技場とあるが、剣道が使用する市民体育館の場所の確保は、サブアリーナとメインアリーナどちらを検討しているのか。

事務局	当初予定していたソフトボールは、指導者のマッチングがうまくいかず、今年度実証事業に盛り込むことはできなかった。連盟とは打ち合わせを行い、非常に前向きに協力をしていただけたという話もいただいていたところだったが、今年度については実施が難しかった状況である。 2点目。人数が無制限で、指導者が何人確保できるかというところでの質問だが、陸上競技連盟と剣道連盟との話し合いでは、部活動指導員を核として4名程度それに付随し指導する形をとればという話になっている。この4名が固定になるかどうかというところも、これからの調整という形になる。 3点目。剣道の会場は、メインアリーナを予定している。
大塚委員	その他のところで、次年度のアンケートについてだが、部活動指導員等も含めて広く声を聞いた方がいいのではないかな。
事務局	アンケートの内容について、大塚委員からあったように広く声が聴けるような形を考えていきたい。
西川委員	2枚目の5番の活動についての(4)の欠席連絡について。欠席連絡をtetoruで行うとあるが、tetoru は各学校のtetoru を使用するのか、又は新たなtetoru を剣道と陸上で作り、保護者に登録してもらうのか。 また、緊急連絡番号は市教育委員会の誰につながるという記載があるとよいと思う。 最後に、今回のように、市の施設を優先的に使わせてもらうのはとてもありがたいなと思っている。野球場やサッカー場、テニスコートや体育館といった市の施設を今後も使わせてもらえるような環境作りをしていってほしい。部活動指導員の制度として、学校の施設を使用する場合、土日であっても、市の職員という位置づけで鍵を持ち、自由に入りができることも可能と聞く。教員がいなくても、指導者と生徒たちだけで活動できるような体制も、来年度以降検討していく必要もあると思う。
事務局	まず一点目について、市教育委員会がtetoru 作成をし、市教育委員会と保護者・家庭がやり取りをしていく。 教職員の働き方改革も含まれているので、学校の手間を取らせない形で考えている。2点目の電話に誰が出るかということだが、開始30分前に市教育委員会の担当者が実施会場に行くので、その日の担当者が電話対応をする。

森座長	剣道と陸上が 1 月 2 月、同日開催ということはないか。
事務局	可能な限り剣道の方で調整していきたいと思っている。同日にならないような調整できればと考えている。
森座長	この文書は誰向けか。
事務局	家庭、保護者、学校に出す文書となっている。
森座長	スポーツ指導において、不適切な指導が処分されるようになってきている。刑事責任を問われるケースが非常に増えてきている。 実証事業対応マニュアルには、指導者向けは留意点をしっかりと示していくべきだと思う。今後は、部活動指導員向けの研修機会を設けていく必要があると思う。
事務局	昨年度、部活動指導員の研修については、任用継続の研修とあわせて、中体連の事故防止の資料を抜粋したものを活用し実施した。今年度については、人数も 12 名となっているので、一律での研修を実施していきたいと考えている。
森座長	教員ならある程度研修を受けていると思うが、民間の指導者だと受けてる方と受けてない方がいると思うので、機会はあった方がいいと思う。
岡部委員	この実証事業の活動を、協議会の委員が見に行ったりということは考えているか。
事務局	ぜひご覧いただければと思う。
森座長	実証事業中、土日のいずれかは部活動指導のもとで活動するということではないか。
事務局	実証事業にバレー部の生徒が剣道の実証事業に参加したいという場合には、学校への協力を依頼していく。

森座長	白山中は、生徒は他でできる活動があればやりたいと思っているか。
松崎委員	部活動での就学指定校変更は考える必要がある。この件について、進展あるか。白山中は特認校という制度もあり、生徒の数が年によって変動する。例えば、部活を増やしてほしいと保護者から言われてもそれは難しい。指定校変更を認めることができるのであれば、返答もしやすい。何か進展があったり、考えていることがあったら教えていただきたい
事務局	部活動の指定校変更については検討している。自分のやりたい部活がある学校に行けるというメリットも当然あるが、逆にその部活が継続できなかった場合にどうするかというデメリットもあり、検討している状況である。
寺田委員	その他の一番最後で、先ほど言った団体競技がもし実施できるのであれば検討いただきたい。
森座長	バスケットボールについては、どのような反応か。
寺田委員	なかなか決めづらいところがあると思う。やり方の工夫は必要と思う。
久保田委員	教職員が指導者になる場合についてだが、小学校の先生が指導するケースというのも場合によってはあり得る。 労働時間として単月 100 時間未満複数月平均 80 時間以内という記載があり、運用にあたっては、45 時間以内となることが望ましいという記載もあるところだが、このあたりの方向性はいかがか。また、学校での勤務時間とその地域クラブ活動での労働時間、こういったものを合わせるという管理の仕方について何かお考えがあれば教えていただきたい。
事務局	市教育委員会が申請書を受けて管理する形になる。労働時間についても検討していきたい。
西川委員	学校の部活動、その先には成果を試す場所として、中体連の大会のあり方があるかと思う。全国的にみると、地域のクラブチームが中体連登録をしてクラブチームとして参加をしているチームもある。 東松山市としての認定地域クラブ活動について、東松山市としてクラブチー

	ムを認定し大会等に出していく方向性があるか伺いたい。
事務局	認定クラブについても検討していきたいと考えている。現状検討段階では、埼玉県で認めている自治体が現状ないので、他の自治体の動きも踏まえながら検討していく。
森座長	中体連はどのように考えているのか、遠藤委員に伺いたい。
遠藤委員	日本中体連の様子をみて、埼玉県中体連は検討している。どの市町村も同じようにはできないというのは共有レベルでも話をしている。
森座長	中体連からの提案がないのが不満に思う。
岡部委員	最近、指導の中でいろいろ動画を撮ったり、その動画を見せて、子供に指導したりすることがある。今回、女子の陸上部でも実証事業を行うので、動画を撮ったりする指導があれば、その保護者に説明や合意を得る必要があると考える。
事務局	市教育委員会は剣道や陸上の指導については、連盟にお願いすることになる。その中で動画をとる場合には、申し込みの段階で把握できるようにしたいと考えている。
森座長	予定されている協議は終了したので、これで座長の任をとかせていただく。
6 その他	次回以降の日程 令和8年11月、令和9年2月に開催予定
7 閉会	事務局：学校教育課 課長 内田 恵子
上記会議の顚末を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和8年 9月16日 署名委員 岡部 健 令和8年 9月18日 署名委員 久保田 慶一	